

平成20年度局配分枠予算について

消防局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

消防局は、火災、救急、地震など市民の安心安全を脅かす災害が発生した場合において、24時間体制で、迅速かつ的確に対応しなければならない業務を所管している。

また、当局においては、火災予防の面においても積極的に取り組んでおり、本市は、現在のところ、人口1万人あたりの出火件数が、大都市の中で最も少ない都市となつておらず、行政評価の「災害に強く日々の暮らしの場を安全にする」という政策における客観指標評価にあっても着実に実績があがっている。

しかしその一方で、同じ行政評価の市民生活実感評価においては、いざ大地震等の災害が発生した場合、一人一人の市民が自信を持って迅速的確な行動ができるようになったとは、まだ言い難い状況である。

以上のことと踏まえ、市民の安心安全に直結する事務事業にあっては現行レベルを低下させず、また、職員の努力や工夫により対応できる事務事業は削減を行い、選択と集中により、安心安全が市民生活に実感としてより伝わることを念頭にとらえながら、局配分枠予算の編成を行った。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

＜新規事業＞

【当初予算計上】

危険物質同定装置等の整備	36,000 千円
--------------	-----------

【肉付補正予算計上】

安心救急ネット京都（仮称）の創設	4,000 千円
------------------	----------

救命講習受講者20万人達成記念事業	1,000 千円
-------------------	----------

聴覚に障害がある方等からの携帯電話等による119受信体制の整備	10,000 千円
---------------------------------	-----------

大規模災害発生時の携帯電話等による情報収集体制の整備	10,000 千円
----------------------------	-----------

機甲分団（仮称）の創設	1,000 千円
-------------	----------

北部等山間地域自主防災組織消火器材整備助成金制度の創設	1,000 千円
-----------------------------	----------